

Whispers of the Darkness Daisuke Minamizawa

暗闇の  
囁き



南澤大介

『暗闇の囁き』オリジナル・サウンドトラック

- 1 プロローグ
- 2 誘いの闇
- 3 出会いの森
- 4 戯れの時
- 5 囁きの影
- 6 災いの牙
- 7 怯えの渦
- 8 凍えの部屋
- 9 祈りの朝
- 10 エピローグ

ボーナストラック

- 11 双葉山 1
- 12 双葉山 2
- 13 祈りの朝 (piano solo)
- 14 謎 (unused)
- 15 災いの牙 (piano sketch)

All songs composed and arranged by Daisuke Minamizawa

Produced by Daisuke Minamizawa

Remastered at East Oak Valley Studio, 2016

All instruments performed by Daisuke Minamizawa

Art direction of O.S.T. cassette : Daisuke Minamizawa with Adobe Photoshop, Apple Macintosh IICI

Logo Design : Miwa Iwatsuki

Cover model : Ohki

[1,4,8,13]

Recorded and Mixed at Water Fountain Studio, 1996

Sound Modules : YoungChang MP1

Mixers and Effectors : Fostex DCM100, Mackie MS1202, T.C.Electronic Finalizer

Computer : Apple Power Macintosh 8100/80AV with Digital Performer 1.7

[2,3,5,6,7,9,10,11,12,14,15]

Recorded and Mixed at Big Fountain Studio, 1994

Sound Modules : Roland JV880, U110, D550, D70, R8M, Korg 01/W, YoungChang MP1

Mixers and Effectors : Fostex DCM100, Roland M240, M160, SE50, Sony MUR201, Zoom9120, Tascam PQ80,  
Alesis comp 3630

Computer : Apple Macintosh IICI with Performer 4.1

Special Thanks to...

Gekkeikan (bekkan), Jinsei Tamura [Takagi Shashin], Rumi, Junzo and Hisako Minamizawa

Dedicated to...

Yukito Ayatsuji

## [解説 (2016)]

本作は1994年9月9日にリリースされた、舞台版「暗闇の囁き」のためのオリジナル・サウンドトラック・カセット (BSV-32) の復刻作である。1～10がもともとのカセット全11曲中の10曲で、カセットのA面8曲目に収録されていた「狂いの傾斜」のみ、マスターテープ再生不能のため残念ながら非収録となった。1「プロローグ」、4「戯れの時」、8「凍えの部屋」と、13「祈りの朝 (piano solo)」は、1996年にリリースしたピアノ・ソロ・アルバム『Piano Solos』で新録したヴァージョン。また6「災いの牙」と7「怯えの渦」は、2012年にリリースした(有)スペースサイトの企画CD『SSL vol.17 Hercules』のために再編集したヴァージョンである。

## [解説]

このアルバムに収録した楽曲は、1994年9月、劇団月景館の別館公演「暗闇の囁き」のために書き下ろしたものであるが、芝居制作側との明確な意見の交換が公演直前までほと

んどなされなかったこともあり、実のところ芝居のBGMというよりは、「暗闇の囁き」の様々な角度からのスケッチ、という感が強い。そういう意味では、これは「暗闇の囁き」という小説に対しての“イメージアルバム”であり、さらに言ってしまうと僕自身がサウンドトラックという形を借りて綾辻行人氏へ送るファンターなのである。

綾辻氏の描き出す作品は、非常に魅力的である。特に代表作である“館”シリーズ（個人的には「人形館の殺人」に愛着がある）は、竹本健治氏の「匣の中の失業」、我孫子武丸氏の「殺戮にいたる病」、岡嶋二人氏の「クラインの壺」、宮部みゆき氏の「火車」などとともに、僕にとって再読せずにはおれないという妖しい輝きを持つ、数少ない小説の中の一つである。故に、この綾辻氏の「暗闇の囁き」に音楽をつける、すなわち自分が敬愛する作家の物語を音でスケッチしていくという事は、やりがいのある、しかし難しい作業であった。

このアルバムの楽曲は、そのストーリーが、「閉ざされた空間の中での（舞台上では少女の役者が演じる）少年達による物語」、という印象から、映画「1999年の夏休み」がイメージの核になっている。その僕の大好きな映画は、画面に現れる風景、建物、日用品などあらゆる細部にまで作者のこだわりが感じられ、しかもたった4人の少年（少女）しか登場しない、ある意味ではとても“閉じた”、美しい物語である。サウンドトラックは、僕の音楽の原点の一つになっている作曲家・中村由利子さんが手掛けており、ピアノを中心に綴られた彼女の音楽は、映像の持つ力をさらに強め、心地よく彩っていた。

もともとこのアルバムに収録されているような幻想的でリリカルなメロディ・寂寥感のある曲というものに魅かれ続けている僕は、その種の楽曲を創るのがもちろん好きでもあり、また自分の本来の領分であるとも感じているので、今回のサウンドトラックの楽曲はそういった意味で僕自身の根底に流れている

“音”を具体化していく作業でもあったように思う。

これらの僕が紡ぎ出した楽曲達が、「暗闇の囁き」という物語を心地よく彩る事が出来ていれば、こんなに嬉しいことはない。

最後に、本の装丁家として田島照久氏と共に僕が敬愛する辰巳四郎氏に、このカセットのジャケットを捧げる。

南澤大介



以下、サウンドトラック・カセットのインナー  
スリーブより（一部修正有。※は書き下ろし部分）

## ■1「プロローグ」

「暗闇の囁き」メイン・テーマのピアノ・ヴァージョン。

メインテーマのメロディは大別して2種類あるが、こちらの静かなピアノ・ソロのメロディの方が先にできたものである。アコースティック・ピアノは、この曲を含めほとんど

でYoungChang（カーツウェル）社のMP1を使用。

ちなみにこのアルバムの楽曲タイトルは、原作小説の章題を冠しているが、曲そのもののイメージと特定の章が密接に関係しているというわけではない。言ってみれば「第一楽章」「第二楽章」のようなものである…と考えていただきたい。

## ■2 「誘いの闇」

物語の“影”の部分のイメージ。通奏低音の音色は、ギタリスト岡崎倫典氏のソロ・アルバム『夢で逢いましょう』に見られる低音にインスパイアされたものである。

## ■3 「出会いの森」

メイン・テーマのアンサンブル・ヴァージョン。「プロローグ」のアコースティック・ピアノをベースに、シンセサイザーを重ねている。最初に作った、メイン・テーマのラフスケッチ——原形に一番近い。

## ■4 「戯れの時」

少年達が森で遊ぶ——“戯れ”のイメージ。メロディはメイン・テーマの変形で、それを以前、映画「愚かなる妻」の音楽を創ったときに使った伴奏形に乗せている。

## ■5 「囁きの影」

黙して語らぬ“母”——香澄のイメージ。崩壊しかけている母性をチェロがあらわし、現実と空想の狭間をピアノが行き来している。

## ■6 「災いの牙」

### ■15 「災いの牙 (piano sketch)」

亜希と拓也が出会っていた10年前——“過去”のイメージ。当初は冒頭の部分が静かに転調を繰り返す形態だった（15）が、後に途中から色調を変えるため転調をやめて、フルートによって奏でられるメインテーマのメロディとストリングスを加えてみた。

## ■7 「怯えの渦」

“スケッチブック”——「魔法使いと人形王

子」のテーマ。アコースティック・ピアノとアコースティック・ギター（といってもサントールかダルシマーのような使い方をしてるが）による3度抜き伴奏に乗って、フルートが異国の物語を奏でる。

もともとは、メロディがピアノのものとフルートによるものの2バージョンが存在したが、ここで収録したバージョンはその2つを繋いだもの。※

#### ■8「凍えの部屋」

ピアノ・ソロによるメイン・テーマの、別バージョン。伴奏の音形の違いから、メロディ・ラインが1「プロローグ」に見られるメイン・テーマのそれとは若干異なっているのだが、最終的にはこちらの方が多用されることになった。

#### ■9「祈りの朝」

#### ■13「祈りの朝 (piano solo)」

“重希”のテーマ。このアルバムの中で唯一明確な展開を持ち、数多くの楽器によって

語られている。

13は、1996年のアルバム『Piano Solos』のために新録したバージョン。※

#### ■10「エピソード」

世界の終焉と残像。メイン・テーマの冒頭部を繰り返して、物語は静かに閉じてゆく。

#### ■11「双葉山 1」

#### ■12「双葉山 2」

オリジナル・サウンドトラック未収録。双葉山での惨殺事件が語られるシーンで使用。※

#### ■14「謎 (unused)」

オリジナル・サウンドトラック未収録。制作したものの、実際の公演では使われなかった。※

『暗闇の囁き』 インナーズリーブ

---

2016年7月21日 電子版第一版発行 ver.1.0.0

**Big South Valley Music**

<http://bsvmusic.com/>

[mail@bsvmusic.com](mailto:mail@bsvmusic.com)

**複写・複製・転載等厳禁**